



## 脱プラスチックへの取り組みを一部店舗で実験開始 プラ製ストローの選択制や紙製カトラリーを試験導入 2020年までに直営※1 約250店舗で実施予定

モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス（代表取締役社長：中村 栄輔、本社：東京都品川区）では、世界的な問題となっているプラスチックごみの廃棄による海洋汚染への取り組みとして、2020年までにモスバーガーの直営店全店※1にて、テイクアウト用のプラスチック製カトラリーを紙製カトラリーに変更します。加えて、プラ製ストローにおいても一律添え付けの廃止、代替品の検討などを行うことで、プラスチックの全体使用量を削減します。

※1 従来の直営店に加え、100%運営子会社である株式会社モスストアカンパニーの店舗も含まれます。

これに先駆け、2019年2月1日（金）より1ヵ月間、直営店5店舗※2にてプラスチック製カトラリーの代わりに紙製カトラリーの提供、プラ製ストローの一律添え付けを休止いたします。直営店のほか、導入店舗の拡大も視野に入れて、実験店舗でのプラスチック製品削減状況やお客さまの利便性、代替製品の有効性を検証します。

※2 柏東口店（千葉）、大崎店（東京）、吉川美南店（埼玉）、関内店（神奈川）、モスカフェ江ノ島店（神奈川）

なお、当社のこれまでのプラスチック削減に関する取り組みは、農林水産省による「プラスチック資源循環アクション宣言」における自主的取組として紹介されています。また、環境省が展開する「プラスチック・スマート」キャンペーンにも参加しています。

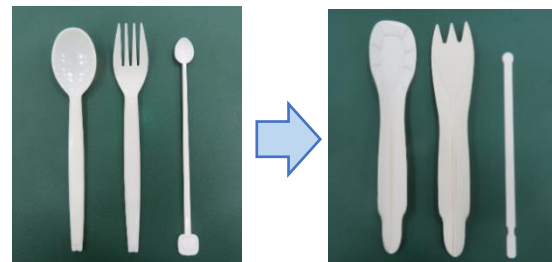


【「プラスチック・スマート」  
キャンペーン ロゴ】

### <直営店5店舗での実験内容>

#### 1. テイクアウトのプラスチックスプーン、フォーク、マドラーを紙製へ変更

サラダ、スープ、コーヒー類などをテイクアウトされるお客さまへ提供しているカトラリー（スプーン、フォーク、マドラー）をプラスチック製から紙製のものに変更します。この紙製カトラリーは、軽量で強度に優れ、水にも強いという特徴があります。この取り組みを直営店※1 約250店舗で実施した場合、年間で約4.4トン程度のプラスチックを削減できると試算しています。



【プラスチック製】

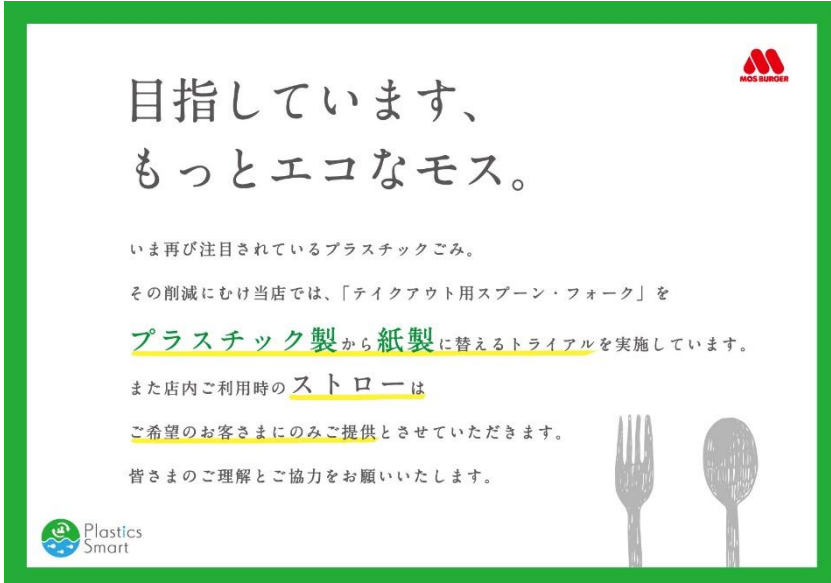
【紙製】

#### 2. 店内飲食でのストローの一律添え付けを休止

店内飲食のお客さまへのコールドドリンク（シェイクを除く）へのストローの一律添え付けを休止します。ストロー希望のお客さまには、従来通り提供いたします。この取り組みを直営店※1 約250店舗で実施した場合、年間で約2.6トン程度のプラスチックを削減できると試算しています。

## (参考) モスグループの容器包装に関するおもな取り組み

1972年 (創業)	・ホットドリンクを陶器のカップで提供（イートインの場合） ハンバーガー類の包装には発泡スチロールではなく、薄い袋状の紙（内袋）を使用
1995年	・全店舗でリユース食器の導入を推進
1999年	・ホットドッグ容器を発泡スチロール製から紙製に変更
2001年	・トレーをメラミン製からペットボトルのリサイクル製に変更
2005年	・「グリーン調達ガイドライン（基本原則）」をホームページ上に公開
2006年	・お持ち帰り用ポリ袋に替わり、紙バッグを導入
2016年	・持ち帰り用サラダ容器（一部石油系プラスチック製）をリサイクルPET製へ



目指しています、  
もっとエコなモス。

いま再び注目されているプラスチックごみ。  
その削減にむけ当店では、「テイクアウト用スプーン・フォーク」を  
**プラスチック製から紙製**に替えるトライアルを実施しています。  
また店内ご利用時の**ストロー**は  
ご希望のお客さまにのみご提供とさせていただきます。  
皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

Plastics Smart



【紙バッグ】

ポリ袋からの移行前（2005年度）の使用量から試算すると、年間約170.5トン相当のプラスチックを削減している計算になります。

【実験用 POP イメージ】

モスフードサービスでは、「おいしさ、安全、健康」という考え方を大切にした商品を「真心と笑顔のサービス」とともに提供することに一貫して取り組んでいます。お客さまに対しても積極的に環境配慮への取り組みを訴求し、今後も経営ビジョンである「食を通じて人を幸せにすること」を実践していきます。

### <実施概要>

- 実験期間：2019年2月1日（金）～2月28日（木）
- 実験店舗：大崎店（東京）、吉川美南店（埼玉）、柏東口店（千葉）、関内店（神奈川）、モスカフェ江ノ島店（神奈川）の5店舗

#### <報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社モスフードサービス 広報 IR グループ TEL. 03-5487-7371 FAX. 03-5487-7389  
<https://www.mos.co.jp/company/> E-mail. pr@mos.co.jp

#### <お客様からのお問い合わせ先>

お客様相談室 TEL. 0120-300900